

(案)

造林・松くい虫防除事業請負契約書

- 1 事業名 造林・松くい虫防除事業(歯朶谷山34は林小班外 5 衛生伐作業外 1)
- 2 事業場所 愛媛県伊予市上三谷 歯朶谷山国有林34林班は 1 小班外
- 3 事業量 別紙事業内訳書のとおり
- 4 事業期間 契 約 締 結 日 の 翌 日 から
令 和 8 年 3 月 16 日 まで
ただし、作業種別又は箇所別の事業期間は、別紙事業内訳書のとおり
- 5 請負金額 金 円也
(うち取引に係る消費税及び地方消費税(以下「消費税」という。)額
金 円也)
〔注〕() の部分は、請負者が課税業者である場合に使用する。

- 6 選択条項 別冊約款中選択される条項は次のとおりである。
(適用されるものは○印、削除されるものは×印。)

適用削除の区分	選択事項		選択条項
×	契約保証金の納付		第4条第1項第1号
×	契約保証金の納付に代わる担保となる有価証券等の提供		第4条第1項第2号
×	銀行、甲が確実と認める金融機関等の保証		第4条第1項第3号
×	公共工事履行保証証券による保証		第4条第1項第4号
×	履行保証保険契約の締結		第4条第1項第5号
×	支給材料及び貸与品		第15条
×	前金払	分の 以内	第35条第1項
×	中間前金払		第35条第3項
×	部分払	回以内	第38条
×	国庫債務負担行為に係る契約の特則		第40条

(注) 国庫債務負担行為に係る契約にあつては、別紙を添付する。

7 支給材料及び貸与物件

品 名	品 質 規 格	数 量	引渡予定場所	引渡予定月日

8 特約事項

上記の事業について、発注者と請負者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、本契約書及び令和7年12月5日に交付した国有林野事業造林事業請負契約約款及び国有林野事業造林事業請負標準仕様書によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

また、請負者が共同事業体を結成している場合には、請負者は、別紙共同事業体協定書により契約書記載の事業を共同連帯して請け負う。

本契約の証として本書2通を作成し、当事者記名押印の上、各自1通を保有する。

令和 年 月 日

発注者（甲） 住所 愛媛県松山市朝美2丁目6番32号
氏名 分任支出負担行為担当官
愛媛森林管理署長 山口 正浩 印

請負者（乙） 住所
氏名

[注] 請負者が共同事業体を結成している場合においては、請負者の住所及び氏名の欄には、共同事業体の名称並びに共同事業体の代表者及びその他の構成員の住所及び氏名を記入する。

1. 本数伐採率は実地調査(収穫調査)の本数伐採率とする。

2. 樹種・本数欄は、新植、改植、補植等は(本)、除伐2類、保育間伐、本数調整伐については、上段はha当たりの本数伐採率(%)、下段はha当たりの目安伐採本数(本)である。

材 料 仕 様 書

1. この仕様書に定めた材料は、乙が購入することとする。

2. 材料の規格及び数量

材料名	規格	単位	数量	備考
マツノザイセンチュウ移動・増殖 阻止剤	90 mlボトル	本	498	
樹幹注入用加圧注入容器		本	195	
樹幹注入用加圧用ガスボンベ		本	195	
樹木用被膜塗布剤	150g	個	4	

※上表の規格は例示

3. 乙は、2.の購入にあたって※の品質を満たす製品とし、購入後は遅滞なく納品書を監督職員へ提出して監督職員の検査に合格したものを使用する。

※ マツノザイセンチュウ移動・増殖阻止剤は以下の条件を全て満たす製品とする。

- ・農林水産省登録薬剤であること。
- ・残効期間6年以上であること。
- ・毒物及び劇物取締法での規制を受けない製剤毒性「普通物」であること。

4. 乙は、監督職員の検査後、常に材料の状態に注意し適正な保管に努めなければならない。

松くい虫被害木衛生伐作業仕様書

1. 総 則

- (1) 松くい虫被害木衛生伐作業の実施に当たっては、契約書及び本作業仕様書によるほか、実施の細部については、監督職員の指示に従うこと。
- (2) 本作業仕様書及び図面に疑義がある場合、その他不明な点がある場合は、監督職員の指示に従うこと。

2. 対象木の確認

- (1) 伐採予定区域及び伐採予定木は、請負者において事前に確認しておくこと。
- (2) 伐採対象木については、配布する衛生伐対象木明細表に基づき、対象木胸高部への白テープ表示により確認すること。
- (3) 伐採予定区域及び伐採予定木に不明な点のある場合は、あらかじめ監督職員に申し出て、その指示を受けるものとする。

3. 伐倒作業

- (1) 伐倒に当たっては、対象木以外の立木を損傷しないよう注意し、残存木の保護に努めること。
- (2) 残存木の被害防止のため、必要に応じ、監督職員の指示等により、枝落とし等を行った後、方向を定めて伐倒すること。
- (3) 対象木の伐採高は、60 c m以下とする。なお、地形等の制約により前記の伐採高に伐採できない場合は、直ちに監督職員の指示を受けること。
- (4) かかり木はそのまま放置することなく、地面に引き落とすなど、伐倒木は、必ず地面に着地安定させること。
- (5) 樹幹は、原則として集積可能な長さに玉切ること。
- (6) 末木枝条の集積は、伐倒作業に支障がない限り、行わなくてもよい。
- (7) 民有林等に接する箇所では伐倒をする場合は、必ず国有林地側へ倒し、民有林等へ支障のないよう処理すること。
- (8) 伐倒木が道路・歩道等に倒れた場合、又はその危険性がある場合には、これを放置することなく適切に玉切りし、危険性の無い箇所に集積すること。
- (9) 伐倒木の根株にナンバーテープを貼り付けし、別に定める日誌に伐倒木本数を記録し、監督職員の請求に応じて提示するとともに、作業完了後は、発注者に提出すること。
- (10) 伐倒木は、原則として玉切り時に枝払いを行うこと。
- (11) えひめ森林公園区域内及びその近辺の伐採について、施工中は、注意喚起看板等を設置するとともに、第三者の立ち入りに特に留意すること。
- (12) その他作業基準など、定められた安全作業上の諸法令通達等を遵守し、作業の安全に努めること。

樹幹注入作業仕様書

1. 総則

樹幹注入作業に当たっては、契約書及び本作業仕様書によるほか、実施の細部及び疑義又は不明な点がある場合については、監督職員の指示に従うこと。

2. 対象木の確認

樹幹注入対象木については、配布する樹幹注入対象木明細表に基づき、対象木をナンバーテープにより確認すること。

3. 樹幹注入作業

- (1) 作業実施前には、注入作業の支障とならないよう、移動範囲及び樹幹周辺の下草を刈払高 20 c m 以下に刈払うこと。
- (2) 加圧注入にて施工すること。
- (3) 1 本当たりの薬剤注入量については、配布する樹幹注入対象木明細表のとおりとする。
- (4) 注入方法については、使用する薬剤の使用方法及び注意事項に基づき使用すること。
- (5) 注入孔は大きな節の直下、表皮の厚い部分、瘤、陥没箇所等を避け、直径 6.5 mm のドリルで地上 30 c m ～ 1 m 以下に樹幹部の斜め下方に向けて、薬剤が形成層に触れないように、深さ 4 ～ 9 c m を穿孔すること。
- (6) 樹幹注入対象木 1 本につき複数の注入孔を開ける場合は、千鳥打ちになるよう部位の選定をし、環状打ち、列状打ち、かため打ちはしないこと。
- (7) 薬剤注入後の注入孔へは、木栓や癒合剤を塗布すること。
- (8) 施工後は、薬剤名、施工日、注入量を明記した識別票を胸高部に張り付けること。
- (9) 降雨、強風が予想される場合は、薬剤注入を行わないこと。
- (10) 使用後の薬剤の容器等は、林地等へ放置せず、持ち帰り適切に処分すること。

4. 安全衛生

- (1) 農薬使用者の責任を明確にするとともに、適切な研修を受講した者を作業に従事させること。
- (2) 薬剤の保管については、第三者が触れることがないよう鍵のかかる倉庫等に、厳重に保管すること。
- (3) 作業中は、手袋・長袖上着・保安帽を着用して、露出部を少なくし、必要に応じ保護メガネを着用すること。
- (4) 皮膚に薬剤が付着したとき及び作業終了後は、石鹸で露出部をよく洗うとともにうがいをする。

5. その他

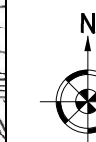
施工中は、注意喚起看板等を設置するとともに、第三者の立ち入りに特に留意すること。

[illegible]

[illegible]

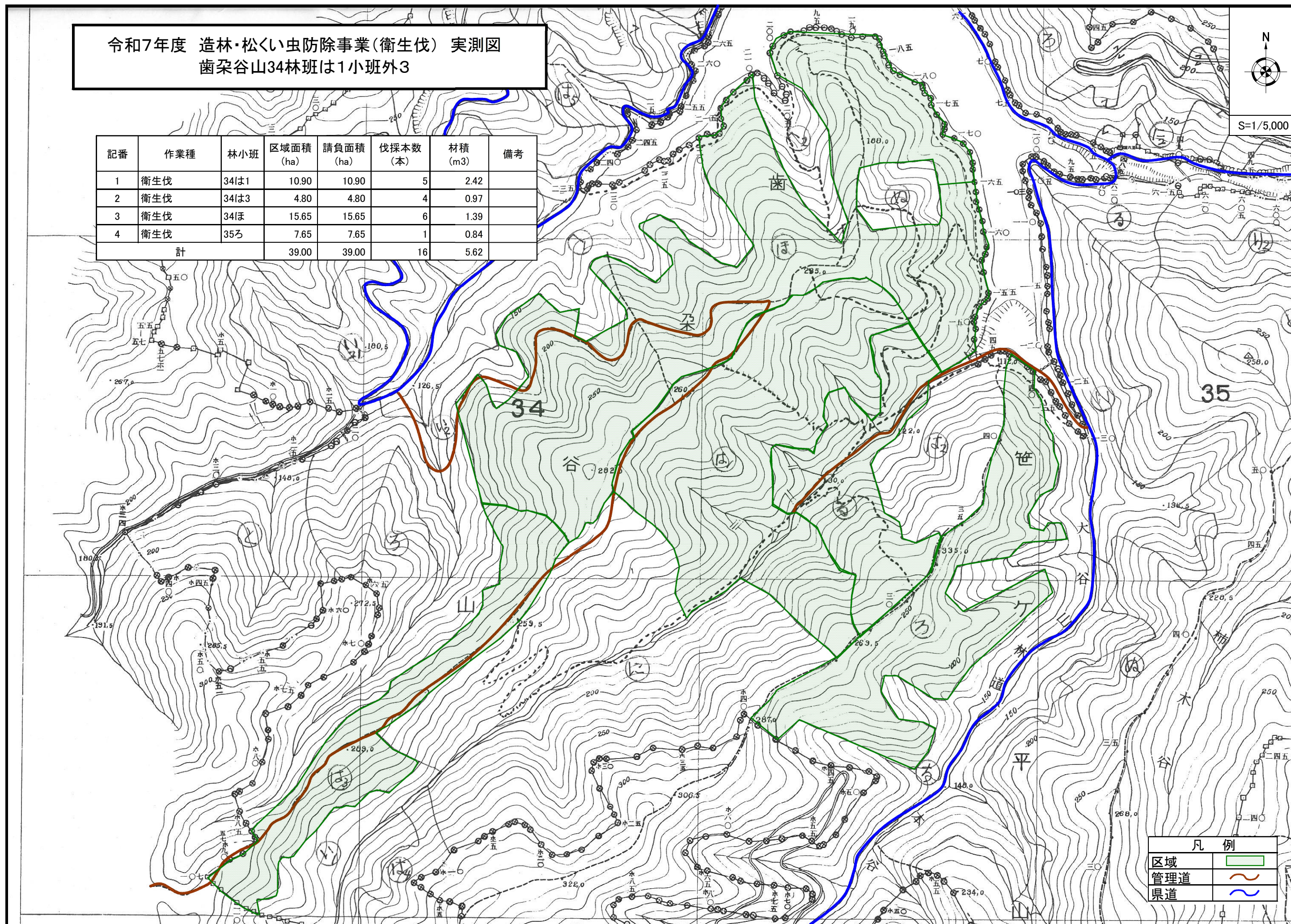
令和7年度 造林・松くい虫防除事業(衛生伐) 実測図
 歯朶谷山34林班は1小班外3

記番	作業種	林小班	区域面積 (ha)	請負面積 (ha)	伐採本数 (本)	材積 (m3)	備考
1	衛生伐	34は1	10.90	10.90	5	2.42	
2	衛生伐	34は3	4.80	4.80	4	0.97	
3	衛生伐	34ほ	15.65	15.65	6	1.39	
4	衛生伐	35ろ	7.65	7.65	1	0.84	
計			39.00	39.00	16	5.62	



S=1/5,000

凡 例	
区域	
管理道	
県道	



令和7年度 造林・松くい虫防除事業(樹幹注入) 実測図
 歯朶谷山34林班は1小班外3

N
 S=1/5,000

記番	作業種	林小班	区域面積 (ha)	請負面積 (ha)	対象木本数 (本)	備考
5	樹幹注入	34は1	10.90	10.90	3	
6	樹幹注入	34は2	3.36	3.36	6	
7	樹幹注入	34ろ	2.91	2.91	13	
8	樹幹注入	35ろ	7.65	7.65	80	
計			24.82	24.82	102	

凡 例

区域	
管理道	
県道	

